



マイクロン、COVID-19 パンデミックの影響を受ける人々への経済的援助に 3,500 万ドルを支出し、世界各地のコミュニティを支援

アイダホ州ボイシ、2020年3月25日 – Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)は本日、新型コロナウイルス (COVID-19)により大きな影響を受ける人々を支援するため、3,500万ドルを投じる計画を発表しました。マイクロン財団による1,000万ドルの新たな救援基金の設立、従業員のマッチングギフトの増額、従業員への補助金の給付などを通じて経済的支援を行う計画です。さらに、中小企業のサプライヤーへの支払いの迅速化や、救急医療対応のための施設や物資の寄付も行います。

マイクロンの社長兼CEOであるサンジェイ・メロートラは次のように述べています。「マイクロンにとって従業員とパートナーの健康と安全、そして、私達が事業を行う地域社会の安全と幸福は最優先事項です。COVID-19 パンデミックの規模がより顕著になる中、この危機により最も大きな影響を受けるであろう人々に向けて、速やかに必要な資金や資源などの支援が渡るように、取り組みを迅速化させます」

新たな1,000万ドルのマイクロン財団 COVID-19救済基金は、経済的な回復に焦点を当てた世界各地における諸活動に提供され、現在進行中、もしくは今後発生する地域社会のニーズに対応させます。具体的には、フードバンクや学校給食プログラムや医療施設への支援、学生向けのオンライン学習のリソースの支援など、様々なチャリティや活動に役立てられます。

さらに、マイクロンはCOVID-19対象の寄付の効果を倍増させるため、Micron Givesチャリティプログラムにおいて、2対1のカンパニーマッチを導入しました。また、コミュニティ全体にマイクロンのリソースを提供する計画の一環として、最大300,000枚のマスクを地域の衛生当局へ提供するとともに、病院で対応しきれない患者のために、マイクロンの施設を開放します。

マイクロン財団のエグゼクティブディレクターであるディー・ムーニーは次のように述べています。「COVID-19が人々の健康、経済、および日々の生活の至る所にどれほどの影響を及ぼすのか、人々は大きな不安を抱えています。このような状況で、マイクロン財団とMicron Givesプログラムの役割は、これまでになく重要になっています。私達はコミュニティパートナーのグローバルネットワークをフル活用し、我々のリソースが迅速かつ効率的に提供できるよう努めています」

また、マイクロンは従業員に対してCOVID-19救済のための一時金を支給します。米国では、年収100,000ドル未満のチームメンバー全員に1,000ドルを、他国のチームメンバーにも地域に応じた同程度の金額を支給します。全世界のマイクロン従業員の68%がこの支給の対象になります。さらに、経済的困難に直面した従業員を対象とした支援基金への投資を行います。この基金では、個々の従業員の必要性に応じて、最大5,000ドルの支援金が提供されます。



マイクロンの人事担当シニアバイスプレジデントであるエイプリル・アーンゼンは次のように述べています。「私達はこのパンデミックがマイクロンの従業員に及ぼす影響について、深く憂慮しています。マイクロンのCOVID-19 支援金は、当社の業務遂行において不可欠な人々に経済的援助を提供することを目的としています」

さらに、マイクロンは世界各地で多くの企業が直面している当面のキャッシュフロー問題を少しでも解消するため、500社を超える中小企業のベンダーに対して支払いの迅速化を図っています。

マイクロンはすでに中国、イタリア、米国において、COVID-19との闘いを支援するため、従業員マッチングファンドとともに地域貢献を開始しています。

Micron Technology, Inc. およびマイクロン財団について

Micron Technology, Inc.は、革新的なメモリおよびストレージソリューションでインダストリーを牽引する存在です。当社はグローバルブランドである Micron®および Crucial®を通して、DRAM、NAND、3D XPoint™メモリ、NORといった、高性能メモリおよびストレージテクノロジー分野におけるマイクロンの幅広い技術ポートフォリオにより、世界における情報の使い方を一変させ、生活をより豊かなものにしていきます。40年以上にわたり業界をリードしてきた技術をもつ当社のメモリおよびストレージソリューションは、モバイル、データセンター、クライアント、消費者、産業、グラフィックス、自動車、ネットワークなどの主要市場で、人工知能、5G、機械学習、自律走行車両をはじめとする破壊的トレンドを実現しています。当社の普通株は、NASDAQ でティッカーシンボル「MU」として取引されています。Micron Technology, Inc.に関する詳細は、micron.com をご覧ください。

1999年の設立以来、マイクロン財団は慈善活動や奉仕活動を通じてチームメンバーの生活や職場があるコミュニティに1億ドル以上を寄付しています。同財団とマイクロンの企業単位での奉仕活動は「*Micron Gives*」という組織で運営され、科学と工学の分野での教育促進およびベーシック・ヒューマン・ニーズへの対応に焦点を当てた寄付、プログラム、ボランティア活動が実施されています。

マイクロン財団に関する詳細は、micron.com/foundation をご覧ください。また、Twitter [@MicronGives](https://twitter.com/MicronGives) をフォローしてください。

©2020 Micron Technology, Inc. All rights reserved. 情報、製品および仕様は予告なく変更される場合があります。マイクロン、マイクロンのロゴ、およびその他のすべてのマイクロンの商標は Micron Technology, Inc. に帰属します。他のすべての商標はそれぞれの権利者に帰属します。

日本国内でのお問い合わせ先:

マイクロンテクノロジー社 広報担当(井之上パブリックリレーションズ)

楡山、リットウイン、田中

micron@inoue-pr.com